

進路NEWS (第8号)

進路HR④ 進路集会②

夏の学習計画立案

2022年7月7日 (木) 進路指導部

3年進路集会②

No.1

- ※役割分担 集合指揮:善家、司会:笠原、
 コンピュータ・プロジェクター:田中・奥野
- ①14:25 体育館集合完了
 ※貴重品管理・教室施錠に注意
- ②14:26 進路指導部長・教内先生
 学年進路・笠原から夏休みに向けての進路講話
- ③15:05 教室に戻り進路HR実施
 ※集会終了後、進路委員は進路指導室からHR
 セットのいったカゴを教室へ運ぶこと

志望校を考え、入試科目を調べる No.2

第1志望 基本的に前期日程で記 ※ 志望校が私立大学等の場合、下の2次試験(個別学力試験)の欄を使用すること。

大学入學共通テスト

大学	学部	学科 専攻 コース	外国語		数学		国語	理科	地歴	公民	芸術	体育	総合	合計
			①	②	①	②								
			リスニング	リーディング	数I	数II								
			100	100	100	100	200	100	100	100	100	100	100	100

2次試験(個別学力試験)・私大一般入試

大学	学部	学科 専攻 コース	外国語		数学		国語	理科	地歴	公民	芸術	体育	総合	合計
			①	②	①	②								
			リスニング	リーディング	数I	数II								
			100	100	100	100	200	100	100	100	100	100	100	100

※配点を記入

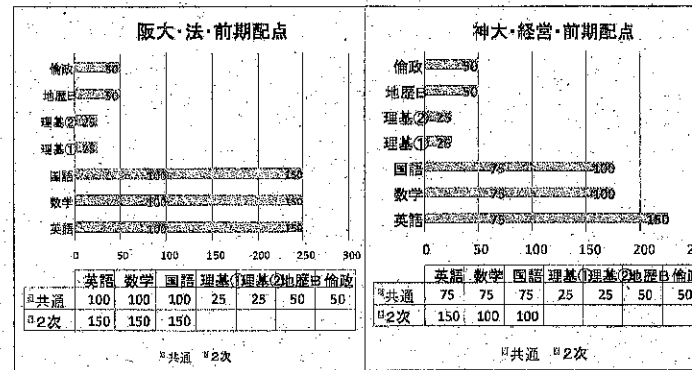
夏休みの学習計画

No.3

教科(科目)	夏休み中の計画(問題集・参考書名・学習する範囲など具体的に)
英語	
数学	
国語	
地歴()	
公民()	
理科①()	
理科②()	

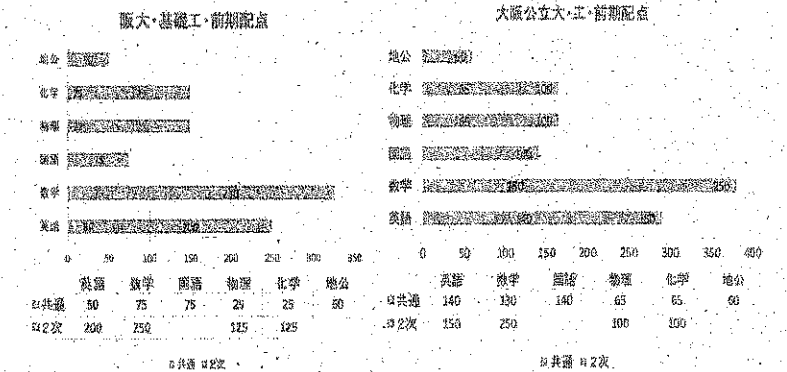
文系配点 英数国を中心に

No.4



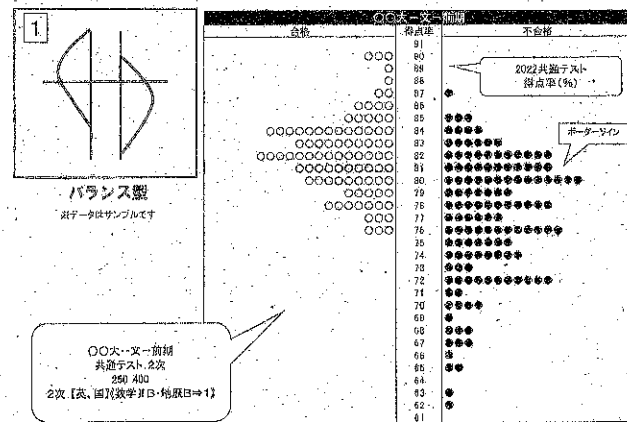
理系配点 数英理を中心に

No.5



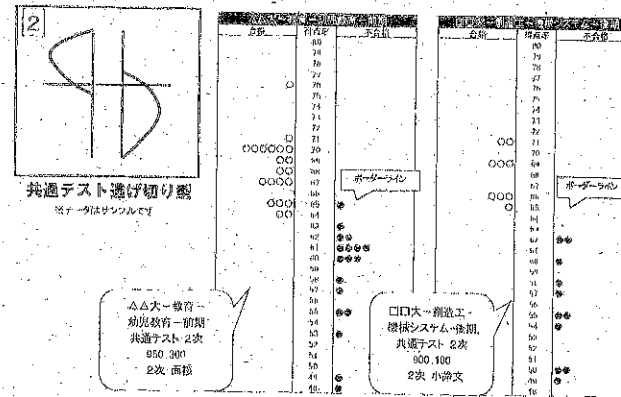
合否実態の類型バランス型

No.6



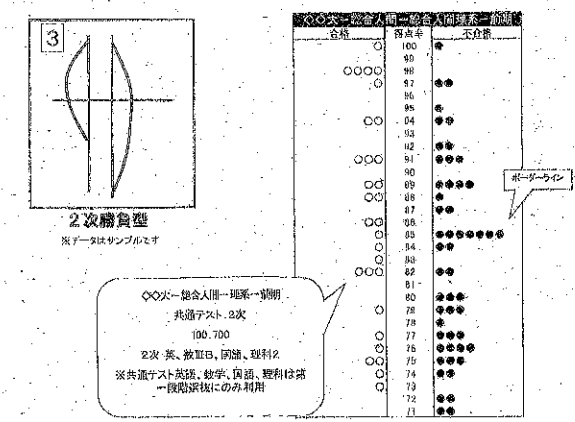
共通テスト逃げ切り型

No.7

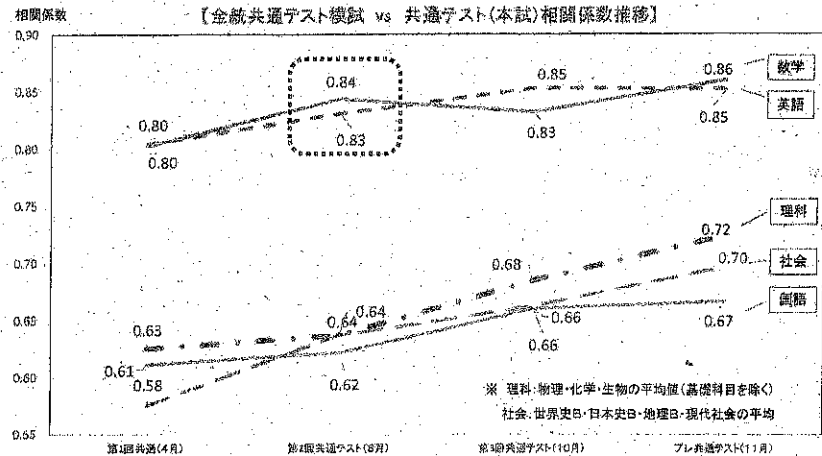


2次勝負型

No.8



全統共通テスト模試と共通テスト本番の相関 No.9



【相関係数】は直線や身長など、2つの値の間の関係の強さを示す数値のこと。-1~1で示される(正の相関は0~1)

A. 0.7~1: 強い相関がある
B. 0.4~0.7: やや相関がある
C. 0.2~0.4: 弱い相関がある

英語と数学は、夏期全統模試の結果が多くの受験生の本試験との相関が強い。夏休みまでの最優先教科といえる。
一方、現役生を中心に理科と社会は夏以降相関が強くなる。

苦手教科も得意教科も学習を No.12

- 2日に1度は全科目を学習(時間の長短をつけて)
弱点教科・分野の補強は大切ですが、得意科目も学習すること。先輩たちも「苦手科目ばかりやりすぎて、得意科目がそうでなくなった」と言います。2日間で全科目を学習することが理想。
- 学校推薦型・総合型などの推薦入試を考えている人
入試に必要な書類や志望理由書などの準備をしよう
- オープンキャンパス ※進路ニュース10号参照
志望校や併願校に行ったことがない人は参加すること
- 睡眠時間確保とリラックス
就寝・起床時間を固定して睡眠時間の確保、軽い運動・音楽・人との会話などでの気分転換を心がけよう

夏休みの学習はバランスに注意! No.10

- 志望校の入試科目・配点を意識した教科バランス
国公立・私立とも、志望校の入試科目・配点を確認して、学習計画を立てる
理系は数・英・理 文系は英・数・国
- 理科・社会科も必ず学習
後回しにすると秋以降苦しくなる
- 合否実態から共通テスト・二次試験のバランス
- 教わる学習と自学自習のバランス
入試問題の解き方などを教わる講習は大切だが、講習前の予習と講習後の復習など自学自習も大切。
- 苦手科目と得意科目のバランス

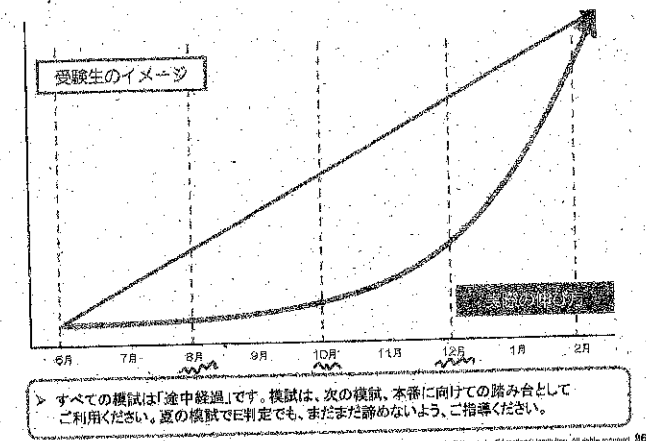
苦手教科は基礎・基本の徹底 No.11

- 得意科目と苦手科目で取り組むレベルは違う
 - 全統模試・学力レベルC~Fの基礎力不十分な科目
基礎力が不十分な科目は、教科書レベルの基本強化。基礎をきっちり補って普通レベルを目指そう。土台が安定すれば、秋~冬の問題演習に対応できる
 - 学力レベルS~Aの学習が進んでいる得意科目
学校の問題集・参考書を徹底的に学習するとともに赤本・青本等の過去問(2年分くらい)など、より高いレベルの課題・問題にチャレンジしてみよう
- ※「進路ニュース9号 夏休み学習法」参照

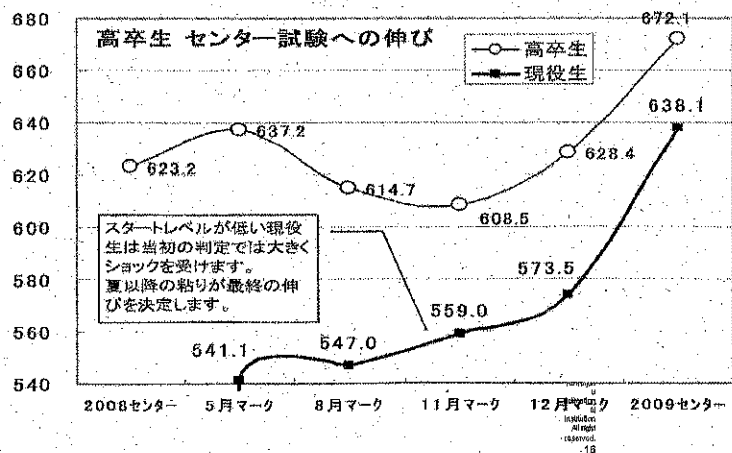
学力の伸びと模試について No.13

- 学力の伸びについて
勉強の成果は3~6ヶ月後に現れるといわれ、現役生は秋から受験当日まで学力が伸びます。5月模試で判定が悪くてもあきらめず(この時期悪いのは当たり前)、判定が良くても安心しないこと。
- 模試と偏差値について
学力も志望校選びの重要な要素です。学習の到達度確認の目安になるのが偏差値です。模試の成績で苦手分野を発見して克服のための学習プランを練るなど受けっぱなしで終わらせないようにしましょう。模試(練習試合)で合否が決まるわけではありません。ゴール(公式戦)は共通テスト、2次試験、私大入試です。

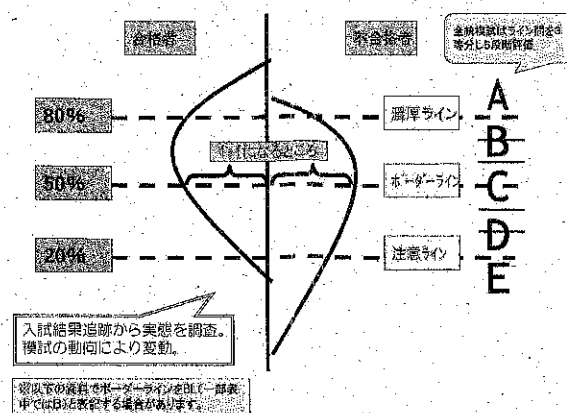
現役生の成績の伸び方 No.14



模試での現浪伸び比較 No.15



河合模試の判定について C判定は合格率50% No.16



全統模試D判定は、合格圏に入った証 No.17

受験生のイメージ	実際の判定	合格可能性
A判定	A判定	80% ↑
B判定	B判定	65% ↑
C判定	C判定	50% ↑
D判定	E判定	35% ↑
E判定		

模試の判定のイメージは、一般的には左のように、A~E判定が同じ人数と思いがちですが、実際には、河合塾全統模試では、約6割がE判定です。D判定は、その大学に向けて、十分戦える力がついてきた証です。

国公立大や難関私立大の受験倍率は約3倍(=33%)